



こんにちは。第3回は、埼玉県立循環器・呼吸器病センターの二つの取り組みについてご紹介します。

ナース通信 No. 3

## 新しい治療法の導入



循環器・呼吸器病センターではさまざまな最先端の治療を積極的に取り入れています。最近では循環器領域の新しい補助循環装置「インペラ (IMPELLA)」が導入され、これまで救命できなかった患者さんも救えるようになりました。「インペラ (IMPELLA)」は、心原性ショックなど循環不全が遷延する場合に使用する世界最小の心臓ポンプのことです。これには心臓外科医・循環器内科医・麻酔科医・臨床工学技士・看護師・放射線技師などで構成するハートチームが連携して治療します。担当する看護師は十分な知識とスキルを持っており、ハートチームの一員として集中治療室、手術室で活躍しています。患者さんの身体的・精神的な負担を軽減するため寄り添う看護を心掛け実践しています。

## 働き方改革に取り組んでいます！～ユニフォーム2色制の導入～

センターでは、働き方改革の一環として看護師のユニフォーム2色制を導入します。日勤は今まで通り白色のユニフォーム、夜勤は色付きユニフォームになります。

夜勤用の色付きユニフォームのデザインは、みんなの意見と要望を取り入れてピンクとグリーンの2色を選びました。「ピンクはさすがに着られない」とか「グリーンはちょっと…」と言っていたスタッフも、選ぶときには色付きユニフォームを着た自分の姿をイメージしながら楽しそうに選んでいました。今は、みんなで新しいユニフォームが届くのを楽しみに待っています。



ユニフォーム2色制は、同僚の看護師だけでなく医師やコメディカルなど他職種にとっても、夜勤者が一目瞭然でわかります。だれに声をかけたらいいのかが明確になり、スムーズな業務の引継ぎや職場の良好なコミュニケーションにつながります。

これからも循環器・呼吸器病センター看護部では、働いてよかったと思える職場づくりを目指して、様々なことにチャレンジしていきます。

